

新潟市教育委員会保健給食課 御中

平成 23 年 8 月 12 日

食材の放射線被曝における学校給食改善の為の提案書

□ 問題点

小児は成人に比して被曝の影響を受けやすいため、被曝による健康被害が生じやすいことが、様々な研究によって明らかにされています。これをうけて、様々な公的機関・団体が、小児の被曝は成人と同列に扱うべきではなく、特別な配慮をする必要があると提言しています。

原発事故に関連した被曝の主要なもの1つに、放射性物質で汚染された食品を摂取することによる内部被曝が挙げられます。実際、国内を流通している様々な食品から様々な放射性物質が検出されており、国民は汚染食品を介した内部被曝の危険にさらされています。中でも、小児は成人に比し被曝の影響を受けやすいにも関わらず、小児が摂取する食品の放射性物質の基準値は成人と同じであり、小児は成人以上に被曝に伴う健康被害のリスクにさらされていると言えます。

このような状況を踏まえ、「子どもを守る会」は、小児の健康を守るために、小児の汚染食品を介した内部被曝を軽減することを目的として、学校給食に関連した以下の提案を致します。

□ 提案

提案 1：汚染された地域で生産された食材を学校給食に使用しない。

提案 2：学校の献立表に使用食材の産地を明記し、喫食の判断を児童または保護者に委ねる。

子どもたちを放射能から守る会@新潟